

24年度実績評価の要旨

《年度経営計画の実績評価の要旨》

1 各種保証商品の積極的な推進

- 関係機関と連携し、各種保証商品の積極的な推進を行いました。
- 各種商品の利用実績はセーフティネット保証5,675件609億円、借換保証2,132件244億円、県市町村制度15,121件928億円、創業保証575件21億円、流動資産担保融資保証265件55億円、特定社債保証60件41億円となりました。
- 金融機関と連携を強化して資金繰り支援を行う「連携支援保証(アシスト)」を創設し、156件39億円のご利用をいただきました。

2 保証利用企業数の増加

- 信用保証制度を広く知っていただき保証利用企業数の増加を図るため、金融機関の若手担当者等を対象とした「信用保証セミナー」の開催(長野市、松本市の2会場、計178名出席)、商工会議所及び商工会の指導員研修会等への出席(7回)、関係機関との打合せ会議開催(160回)、ながの創業サポートオフィスとの連携などを行いました。これらの取組みにより、1,433企業(前年度比105%)の新規利用がありました。

3 期中支援

- 返済条件の変更は、延滞の早期段階での積極的な提案や、個々の企業実態を踏まえた柔軟な対応などにより、12,860件(前年度比100%)、金額1,202億円(同103%)となりました。
- 代位弁済の見込みとなった企業に対する早期の状況把握などに努め、90企業について代位弁済の回避に繋げることができました。
- 経営支援の必要な企業に対するフォローアップ訪問(延べ470回)を行うなどモニタリングに努めました。訪問時にはMSS(中小企業診断サポートシステム)による診断書をお持ちして企業経営に役立てていただいています。24年度はダイレクトメールによりご希望いただいた41企業を含め260企業にMSSの診断結果の説明を行いました。
- 関係機関と連携し、国や県の専門家派遣事業の活用(延べ90回専門家を派遣)、信州大学経営大学院との共催による「信用保証協会経営セミナー」の開催(長野市、諏訪市の2会場、計122名出席)、商工会議所、商工会のご協力による「出張相談会」の開催(93回)などを行いました。
- 「信州再生支援ネットワーク会議」の事務局を担いました。この会議では25年3月に創設された「信州みらい応援ファンド」についての検討を行いました。

4 管理回収

- 早期着手の徹底、関係者の現況把握、定期回収促進などに努めました。また、サービサー有効活用のため、有担保求償権の一部も委託することなどにより、サービサーの回収額は7億72百万円となりました。

5 その他

- 信用保証懇話会の開催や、ご利用いただいた先(2,111企業)へのアンケート実施などにより信用保証協会に関するご意見・ご要望をいただき、業務改善に役立てることができました。

《コンプライアンス態勢及び運営についての実績評価の要旨》

コンプライアンス・プログラムに従い、コンプライアンスについての指示の徹底、コンプライアンス委員会の開催、コンプライアンス・マニュアルの整備など、コンプライアンスの実践に取り組み、役職員の意識の向上が図られたものと認識しています。

《外部評価委員会の開催》

平成25年6月27日、外部評価委員会を開催し、平成24年度経営計画の業務実績及びコンプライアンス態勢及び運営についての自己評価に対し、弁護士、税理士、大学教授の有識者から成る外部評価委員の皆さまから、ご意見・ご助言をいただきました。

【年度経営計画】

- ・借換保証が増加していることは、セミナー、ビジネスフェア、ホームページ等を通じて金融機関、関係機関に周知を図った効果であり評価できる。
- ・創業関係の保証が伸張したことは、情報提供等に工夫があったと認められる。なお、創業に限らず、反社会的勢力等の不正利用に対しては、チェックの徹底や金融機関等との連携により、確実に防止する体制をとっていただきたい。
- ・中小企業者へのアンケート結果から「連携支援保証（アシスト）」を創設し、保証利用の促進がなされたように、利用者のニーズに対応していこうとする姿勢は評価できる。
- ・保証商品が多様化しており、十分整理して、中小企業者や金融機関等に対して分かりやすい情報提供をしていくことが大切。引き続き、気軽に相談できる「顔の見える協会」づくりに取り組まれない。
- ・経営支援の取組み、延滞・事故の管理、関係機関との連携強化に関して、適切な取組みがなされている。
- ・回収については、回収環境が年々厳しくなっていることから、計画達成のためさらに工夫した取組みが必要である。
- ・長期的な視点に立って考えることのできる人材が必要であり、特に若年層について、他の業界、異業種との交流等を取り入れ、社会経済の変化に柔軟に対応できるよう育成に努められたい。

【コンプライアンス】

- ・コンプライアンスについては、コンプライアンス・プログラムに沿って着実に取り組んでおり評価できる。